

令和6年度 第3回 学校運営協議会 議事録

校名	府立桃谷高等学校
校長名	伊藤 範子

開催日時	令和7年 1月 30日(木) 14:00 ~ 16:00
開催場所	府立桃谷高等学校 多目的教室 I
出席者(委員)	梅田和子会長、長畑卓志副会長、篠崎静夫委員、高河原健委員 筋原章博委員
欠席者(委員)	滋野幸子委員
出席者(学校)	伊藤校長、福島准校長、岡本事務部長、橋岡課長補佐 鍋谷主査、平田主査、北田教頭(通信制)、吉田教頭(定時制)、 定時制教職員、通信制教職員
傍聴者	なし
協議資料	令和6年度 学校経営計画・評価(案) 令和7年度 学校経営計画(案)
備考	

議題等(次第順)
1.開会 2.校長挨拶 3.説明・協議①定時制の課程 ②通信制の課程 4.准校長謝辞 5.閉会
協議内容・承認事項等(意見の概要)
<p>令和6年度 学校経営計画・評価(案)、令和7年度学校経営計画(案)について (定時制の課程)</p> <p>○令和6年度学校経営計画・評価 ①授業改善 ②キャリア教育 ③ストレスチェックの結果</p> <p>○令和7年度学校経営計画(案) 変更点①めざす学校像 ②コンピテンシー ③キャリア教育(日本語指導の必要な生徒も含む) ④毎日登校ではなくライフスタイル(週2,3回の登校等)に応じた時間割やカリキュラムの編成</p> <p><委員からの意見・質問></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営や教職員の意見が出しやすい工夫に関しては桃定プロジェクト会議がしっかりと機能している。 ・日本語指導が必要な生徒→卒業に近づくにつれて日本語能力的な部分や進路について課題がある。 ・④の具体案など→通信制のスクーリングがない火木の午後の時間帯の活用等も含めて今後検討する。 ・登校日数を自分で決めるのは画期的。特色を全面に出してフィットする生徒がいれば選びやすい学校になる。 ・教職員の負担が大きくならないように桃谷定時制でしかできない取り組みに期待。 <p>(通信制の課程)</p> <p>○令和6年度学校経営計画・評価、学校教育自己診断の結果 ①運営委員会の活性化 ②2範囲制への移行 ③観点別評価の改善 を中心に取り組んだが、数値的には伸び悩みがみられる。教員組織を束ねる横軸が必要か。</p> <p>○令和7年度学校経営計画(案)について 上記②については一気に「2期制」を進めることになった。①、③については継続して取り組む。</p> <p><委員からの意見・質問></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員対象の学校説明会の実施時期について、中学校としては11月の進路面談の前などに実施してもらおうと多様な進路選択の1つになるし、中学校教員の事前の知識にもなる。